

◎税収見込みの考え方

・個人市民税

R2年度までは決算、R3年度については当初予算

R4年度以降はIMFの経済成長率と社人研の生産年齢人口減少率より推計

(R3.10.12及びR4.4.7に発表されたIMF経済成長率(R3年2.4%、R4年2.4%)から、安全を見て1.2%で推計)

(社人研の生産年齢人口減少率 R3～7年度▲0.883%、R8～12年度▲1.124%、R13～R17年度▲1.526%、
R18～R22年度▲2.014%、R23年度以降▲1.603%)

以上、IMFと社人研を組み合わせ

○R4～R7年度 100.317%

○R8～R12年度 100.076%

○R13～R17年度 99.674%

○R18～R22年度 99.186%

○R23年度以降 99.597%

・法人市民税

R2年度までは決算、R3年度については当初予算

R4年度以降は、IMFの経済成長率を参考に1.2%増と見込む。

・固定資産税、都市計画税

R2年度までは決算、R3年度については当初予算+コロナ減収補填交付金250,000千円

過去の推移から、評価替の年度については▲2.362%減、その他の年度は2.051%増と見込む。

ただし、R4年度については、コロナ減収補填交付金250,000千円を差し引く。

・軽自動車税

R2年度までは決算、R3年度については当初予算

R4年度以降については、H28年度の税法改正により新規購入車輛の買い替えに伴う増収影響が残るため3.0%増と推計

・市たばこ税

R2年度までは決算、R3年度については当初予算

R4年度以降は、スマートウエルネス構想による禁煙志向により、1%減を見込む。